

日時：平成20年9月6日（土）午後2時～午後5時

場所：サンラポーむらくも（島根県松江市）

1. 挨拶：島根県学校薬剤師会 会長 白石俊治
日本学校薬剤師会 会長 田中俊昭

2. 日本学校薬剤師会より現況説明

5つの基本方針の説明があった。また、事務所を新宿区四谷の日本薬剤師会内に9月1日に移転し、日薬との連携強化をはかる。役員では、徳久先生（石川）、永野先生（広島）を常任顧問（内部名称）とし、役員会に出席してもらうこととした。本年より、3月7日（土）予算総会、5月決算総会と2回開催することとなった。おくすり教育は、日学薬からも講師の派遣が可能であり、組織を上げて取り組む必要がある。「くすりの使い方」（小中学校用）の冊子を県薬に5部、県学薬に1部配布済み。今後の増刷の予定無し。パワーポイントで日薬のホームページよりダウンロード可。

3. 各県学校薬剤師会の事業報告・事業計画

広島県

会費は、6,000円 県薬の中の学校薬剤師部会として存在

末端の会員にどの様にして情報を流すかが課題である。くすりの正しい使い方の本をカラーコピーして全員に配布した支部もある。

鳥取県

会費は、市町村 8,000円 県 12,000円 学薬の会長が県薬の理事

東部、中部、西部に分け講習会等を実施

岡山県

会費は、5,000円 10,000円 11,000円 12,000円 13,000円の5段階

県薬に学校薬剤師部会は無く、学校保健委員会として存在

島根県

会費は、3,000円 10,000円 15,000円の3段階。 県薬の学薬部会として存在。 支部は存在しない。役員の内、3名が県薬にかかわっている。5月にプール管理研修・心肺蘇生法実技講習会を開催。学薬役員が講師。健康長寿しまね街頭キャンペーン、推進フォーラム等を県薬、医師会、歯科医師会とタイアップして、平成12年から実施している。

山口県

西村会長が、平成20年度総会資料に基づいて、たばこの出前講座等を中心に、また、山口県学校環境衛生研究大会冊子の中に掲載してある日常点検簿等を報告。

4. 次年度開催県（広島県）

来年度は、広島で全国大会を開催する為、中止となる可能性がある。